

✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2021年4月8日 ドイツ連邦道路交通研究所 (BASt)

■ 摩耗したタイヤの滓はどこへ行くのか

Wohin verschwindet der Reifenabrieb ?

連邦水理学研究所 (BfG) と連邦高速道路研究所 (BASt) が、連邦交通省による専門家ネットワークの研究プロジェクトでこの問題を共同で調査したところ、摩耗した滓の大部分は土壌に残るが、約 12 ~ 20% は地表水 (河川や湖沼等) に到達する可能性があるという結果が得られた。BASt と BfG の計算によると、摩耗したタイヤの滓は毎年 6 ~ 7 万トン発生し、そのうち 0.87 ~ 2 万トンが地表水に到達する。セーヌ川とスヘルト川の集水域を対象とした他機関の調査では、摩耗したタイヤの滓は、最初に放出された量の約 2% が海に運ばれることが明らかになった。

イギリス 2021年4月13日 The Construction Index

■ ハイウェイズ・イングランド、瀝青材の酸化老化を弱める添加剤の開発を主導

Anti-ageing cream for roads

ハイウェイズ・イングランドは、ポリマーを変性させた新しい瀝青材混合物の試験を主導している。試行中の新しい混合物『Total Styrelf LongLife』には、酸化老化を弱める添加剤が含まれている。酸化老化を遅らせることで路面をより長期間柔軟に保つことができ、疲労、フレットィング (微小な往復滑りの繰返作用時における表面損傷)、熱による亀裂への耐性など結合剤の初期性能特性がより長く保持される。

スペイン 2021年4月14日 Cinco Días オンライン版

■ イタリア・アウトストラデー社 (ASPI) 買収提案に向けて ACS がソシエテ・ジェネラルと契約

ACS ficha a Société Générale para estructurar su oferta por Autostrade

情報筋によると、ソシエテ・ジェネラルは現在、買収提案への参加に関心を持つ候補者のマッチングも含め、資金調達を組成する権限を持っているという。ACS は、アトランティアの取締役会に ASPI の買収価格を提示した時点で、すでにこの高速道路運営会社に対して 91 億ユーロの法的拘束力を持つ意向表明書を提示しているイタリア預託貸付公庫 (CDP) に対する提案を開始する用意があることを示していた。

イギリス (トルコ) 2021年4月14日 New Civil Engineer

■ 世界最長の吊橋の建設が加速

Construction of world's longest suspension bridge gathers pace

チャナッカレ 1915 橋は、完成すると主径間が 2,023 m の世界最長の吊橋となる。6 車線の高速道路で、床版は高さ 72 m、全幅 45 m、最大厚さ 3.5 m である。また両側に維持管理用の通路が 2 本ある。

2017 年 3 月に工費 10 億ポンドで始まった建設工事はあと 1 年半で完成し、2022 年 3 月に供用開始予定である。なお 2020 年 9 月には高さ 318 m の塔 2 基の建設が完了している。

イギリス (スペイン) 2021年4月20日 Construction Index

■ フェロビアルが MIT との提携を更新

Ferrovial renews MIT tie-up

フェロビアルは、マサチューセッツ工科大学 (MIT) との提携で既に 25 件の研究プロジェクトを開発しているが、今般契約を更新した。同社は MIT の低炭素エネルギーと持続可能なインフラの研究を支援するため、今

後5年間で500万USドルを投資する。また、MITEIのモビリティシステムセンターにも引き続き連携する。

アメリカ 2021年4月20日 ジョージア大学

■ インフラへの新しいアプローチによる数百万ドル単位のコスト削減の可能性

New infrastructure approach could save millions

ジョージア大学の研究チームによると、適切なタイミングで構造部材を積極的に交換することは、伸縮継手のように小さいものであっても、橋梁全体への長期的な健全性に大きな影響を与える可能性があるという。州の交通当局は、橋梁の保守、修理、交換を計画するために説得力のあるデータと、より正確な減価償却予測をモデルによって提供できると述べている。

スペイン 2021年4月21日 スペイン高速道路協会 (AEC)

■ 舗装表面の粗さの補修による安全性の利点が、トリトン・グループによって AEC に示される

Las ventajas para la seguridad de la retexturización del pavimento llegan a la AEC de la mano de Grupo Tritón

道路舗装表面の粗さ（テクスチャ）の再生技術は、事故を減らすための最も効果的な解決策のひとつとして浮上している。路面の「テクスチャ再生施工」によって、時間の経過や排水不良、骨材の摩耗やアスファルトの堆積などにより失われた付着力を回復できる。

スペイン高速道路協会（AEC）に加盟したばかりのトリトン・マルチサービス社は、これらの事業に特化した企業の1つであり、2014年から1,000万㎡以上（車線にして3,000km）の路面処理を行ってきた。

フランス 2021年4月23日 LeFigaro

■ ヴァンシ：2021年第1四半期の堅調および記録的な受注残高により株価は上昇

VINCI : un trimestre solide et un carnet de commande record boostent le titre

ヴァンシグループは2021年第1四半期の売上高が102億ユーロ（前年比5%増、2019年同期との比較で9%増）となったことを昨日発表した。高速道路部門は、新型コロナウイルス感染症による封鎖措置にもかかわらず、交通量の減少を2.8%に抑え、0.4%減の11億1000万ユーロとわずかな減少で損失を食い止めた。

イギリス（イタリア） 2021年4月23日 Reuters

■ イタリア検察がジェノバの高架橋の調査に基づき告訴の準備に入る

Italian prosecutors prepare possible charges based on Genoa bridge probe

イタリア検察は、2018年に多くの死傷者を出した高速道路高架橋の倒壊に関する調査を終えた後、アトランティア社の数十人の元従業員に対し起訴する可能性があり準備していると文書で発表した。文書によると、現在や過去の政府高官も起訴される可能性があるという。

イタリア 2021年4月25日 Repubblica オンライン版

■ アトランティアの2つの子会社が今度はトンネルについても危うい立場に

E ora le società di Atlantia rischiano anche per le gallerie

問題の追及はモランディ橋の倒壊だけで終わらない。イタリア・アウトストラーデとSpeaの両社は、トンネル、高架橋の虚偽の報告に加え、防音壁に関しても企業の管理責任について捜査を受ける可能性がある。ジェノバ検察庁によって検討されており、延々と続いているイタリア預託貸付公庫への売却交渉の中心であるコンセッション会社にとって、さらなる経済的打撃となる可能性がある。

イギリス 2021年4月28日 Traffic Technology Today

■ イギリスで年内に自動走行車両が合法化

Self-driving vehicles to become legal in UK in 2021

イギリス交通省 (DfT) は、レベル3の自動運転を合法的に可能とする、自動車線維持システム (ALKS) が作動するためのパラメータを設定した。レベル3では、ドライバーが道路から注意をそらし、運転席で運転に関係のない異なる作業を行うことができる。初期段階の ALKS に関する新たな法律は、時速 37 マイル (約 60 km) 以内の場合にのみ適用される。

イギリス (アメリカ) 2021年4月28日 Traffic Technology Today

■ 新政権下の連邦交通省が道路脇に太陽光パネル設置増加を推進

New USDOT drive for more roadside solar panels

新たに公開された手引書には、「再生可能エネルギーの生成、送電および配電計画、ブロードバンド計画、植生管理、走行車線での誘導充電、代替燃料供給施設、およびその他の適切な用途のための敷設用地の一貫した利用を支援する」と書かれている。

イタリア 2021年4月29日 Repubblica オンライン版

■ 交通インフラの安全性：道路や高速道路のではデータが不完全、鉄道ではヒューマンエラーによる事故がまだ多すぎる

Sicurezza, su strade e autostrade dati lacunosi e incompleti. Ancora troppi gli incidenti ferroviari per errore umano

モランディ橋倒壊事故後のジェノバの法令から生まれ、2020年11月30日に始動した『鉄道、一般道路高速道路インフラの安全のための国家機関 (Ansfisa)』は、インフラ部門における新たな安全文化を促進するための、材料、プロセス、組織の革新を活動目的に掲げている。

Ansfisa は初めての年次報告書を本日発表した。この報告書から、イタリアの一般道路および高速道路のシステムに関して、不完全で限定されたデータしかない現状が明らかになった。

頻繁な管理者の変更、構造物の老朽化等により、現在、道路特性に関する信頼できるデータを取得することは非常に困難である。

イギリス (スペイン) 2021年4月29日 The Guardian

■ バルセロナがスペイン初の太陽エネルギー舗装を設置

Barcelona installs Spain's first solar energy pavement

バルセロナ市議会は、2050年までにカーボンニュートラルとする目標を掲げていることから、その取組みの一環として、スペイン初の太陽光発電舗装道路を設置した。

今般の計画は、昨年オランダのユトレヒト市に 25 m の太陽光パネルの自転車専用道路が設置され、それに続くものである。発電された電力は、照明の電力供給とし冬には路面を加熱し凍結を防ぐ。

フランス (チェコ) 2021年4月30日 LeFigaro

■ ヴァンシ、チェコ共和国の高速道路プロジェクト向け資金調達を完了

VINCI finalise le montage financier du projet d'autoroute en République Tchèque

2021年4月29日、ヴァンシ・オートルートおよびメリディウムが 50:50 で構成する合弁グループ企業 (代表はヴァンシ) は、プルシーブラム (中央ボヘミア州) からピーセク (南ボヘミア州) をつなぐ高速道路 D4 号

線の官民連携契約のための資金調達を完了した。2020年12月に獲得したこの契約は、2021年2月15日にチェコ共和国の運輸相との間で署名が行われた。同プロジェクトには、ユーロ建ておよびチェコ・コルナ建てで4億7400万ユーロの資金が調達される。建設段階における投資額は5億2500万ユーロとなる。

イギリス 2021年5月3日 ITS International

■ スマート高速道路の安全性に疑問が浮上

How safe are smart motorways ?

ピーク時などに路肩を追加の車線として活用し、交通流を改善することに関係たちは常に強い関心を持ってきた。しかし現実には安全上の懸念がある。最近のBBCのテレビ番組で、過去5年間に英国のスマート高速道路で38人が死亡していたことが明らかになったのだ。

グラント・シャップス交通大臣は、スマート高速道路はドライバーにとって複雑すぎるため、整理する必要があると強調した。

イギリス (カナダ) 2021年5月4日 ITS International

■ カナダ政府、EVに警報音システムの取り付け義務規制を提案

Canada tells EVs : 'Make some noise !'

カナダ政府は、2023年までにすべてのハイブリッドおよび電気自動車 (EV) に、低速で注意を引き付ける音を発生させる音響車両警報システムの装備を義務付ける規制を提案している。音の大きさと間隔は、車速に応じて変化し、道路利用者は車が加速しているか減速しているかを聞き分けることができる。

イタリア 2021年5月5日 イタリア・アウトストラデー社

■ アウトストラデー社 (ASPI) により、インフラの安全のためのアカデミーがナポリに誕生

AUTOSTRADATE PER L'ITALIA, NASCE A NAPOLI LA NUOVA ACADEMY PER LA SICUREZZA DELLE INFRASTRUTTURE

本学校では、若い工学部卒業生を対象として入学者を募集しており、革新的な高速道路のインフラ分野での優れた研修内容を無料で受講できます。当社はこの「若い才能のプール」から、事業計画で想定されている新入社員の雇用ができます。また、従業員も対象としており、継続的に研修コースを受講できます。

スペイン 2021年5月5日 Cinco Días オンライン版

■ AP-7号線の返還によるアベルティスへの補償金、政府の見積額は12億9100万ユーロ

El Gobierno estima en 1.291 millones la compensación a Abertis por la reversión de la AP-7

この金額は、アベルティスグループが、国に対して請求している42億ユーロからは程遠いが、交通量の減少に対する補償は含んでいない。

政府は、AP-7号線のカタルーニャ州内の区間のコンセッション運営権返還に伴い、本年度の国の会計に12億9100万ユーロの赤字が発生すると計算している。この区間は、来る8月に通行料金を撤廃して無料道路となる予定である。

アメリカ 2021年5月5日 Roads & Bridges

■ ミシガン州が橋の洗堀をASCEの「ゲームチェンジャー」で監視

Michigan monitors bridge scour with an ASCE "Gamechanger"

ミシガン州交通省の橋梁技術者であるストロッキ氏は以下のように述べた。「無人水上船 (USV) を活用する

と従来の検査方法よりもはるかに安全で、労力をかけずに洗掘を検知できます。ソナー『EMILY』は、橋梁の下部構造周辺の水底で発生していることに関して、即時に大量の情報を提供し、予備検査の効率性が著しく向上する可能性があります」

スペイン 2021年5月6日 Cinco Días オンライン版

■ 社会の強い反発をよそに、政府が2024年に自動車専用道路の有料化を計画

El Gobierno prevé peajes en las autovías para 2024 pese al fuerte rechazo social

政府は2024年に、スペインの自動車専用道路（autovía）に、利用に応じた料金の支払いを導入する可能性があるとしている。この道路に課金される通行料については、欧州委員会に送られた『復興・変革・レジリエンス計画』に含まれており、数カ月前から足場固めがされてきた。

小紙がすでに報じたとおり、これは将来の『モビリティと交通財源法』に含まれる改革のひとつであり、その草案では、「汚染者負担原則」の前提の下で、自動車専用道路および大都市への乗り入れに対する通行料の妥当性について協議がなされた。

ドイツ 2021年5月7日 Spiegel オンライン版

■ 消費者センターの攻勢：自動運転車の事故では製造者に責任を

Vorstoß von Verbraucherschützern : Hersteller sollen bei Unfällen mit autonomen Fahrzeugen haften

連邦交通省が提出した自動運転に関する法案に反対の声があがっている。ドイツ連邦消費者センター連盟の声明書では、自動運転車で事故が発生した場合、所有者ばかりに責任を負わせることがないように求めた。「一番の責任は製造者にあるのが望ましく」、次に技術監督、最後に車両を運転していた人物となるように記している。

ドイツ（オーストラリア） 2021年5月7日 Spiegel オンライン版

■ オーストラリアで電池交換が可能なトラックが誕生：充電よりも交換

Wechselakku-Lkw in Australien : Tauschen statt Laden

貨物輸送では、電動車の立場が弱い。オーストラリアのスタートアップ企業は、大型の交換式電池によって、これを変えようとしている。

この電池の容量は600kWhで（テスラの大型電池が約100kWh）、スタートアップ企業Janus社によるとユーロに換算して71,000ユーロほどになる。ただし、運送業者は電池パックをリースし、1回ごとに71～91ユーロを支払うとされる。

ディーゼルから電動への改造に約55,000ユーロが必要で、取り出したディーゼルエンジンは運送業者に返却され、10,000～16,000ユーロほどで売却できるという。改造は多くのオーストラリア製トラックで可能と同社は説明する。しかしヨーロッパでは、この電池を取り付けることはまずできない。トラックやトレーラーの全長に制限があり、ほぼすべての車両がキャブオーバー型（エンジンの上に運転席を配置）になっているからだ。こうした車両では電池の交換が非常に難しい。